

上町地区防災計画

[令和7年修正]

上町地区

上町地区防災計画作成団体

(順不同)

NO	上町地区防災計画作成協力団体
1	世田谷上町町会
2	世田谷東町会
3	世田谷2丁目町会
4	桜町会
5	松丘町会
6	弦巻町会
7	桜小学校避難所運営委員会
8	松丘小学校避難所運営委員会
9	弦巻小学校避難所運営委員会
10	桜木中学校避難所運営委員会
11	弦巻中学校避難所運営委員会
12	上町あんしんすこやかセンター
13	上町社会福祉協議会
14	上町地区身近なまちづくり推進協議会防災対策部会

目 次

1 上町地区の特性	上町-1(-104-)
(1)自然特性	上町-1(-104-)
(2)社会特性	上町-2(-105-)
(3)地域危険度	上町-4(-107-)
(4)被害想定	上町-5(-108-)
(5)防災資源一覧	上町-8(-111-)
(6)防災資源マップ	上町-9(-112-)
(7)区民アンケート	上町-10(-113-)
 2 各団体の防災活動～現在の取組状況～	上町-19(-122-)
 3 上町地区の課題と取り組み	上町-24(-127-)
(1)方針	上町-24(-127-)
(2)課題	上町-24(-127-)
(3)課題に対する取り組み	上町-24(-127-)

1. 上町地区の特性

令和6年度 世田谷区危機管理部災害対策課

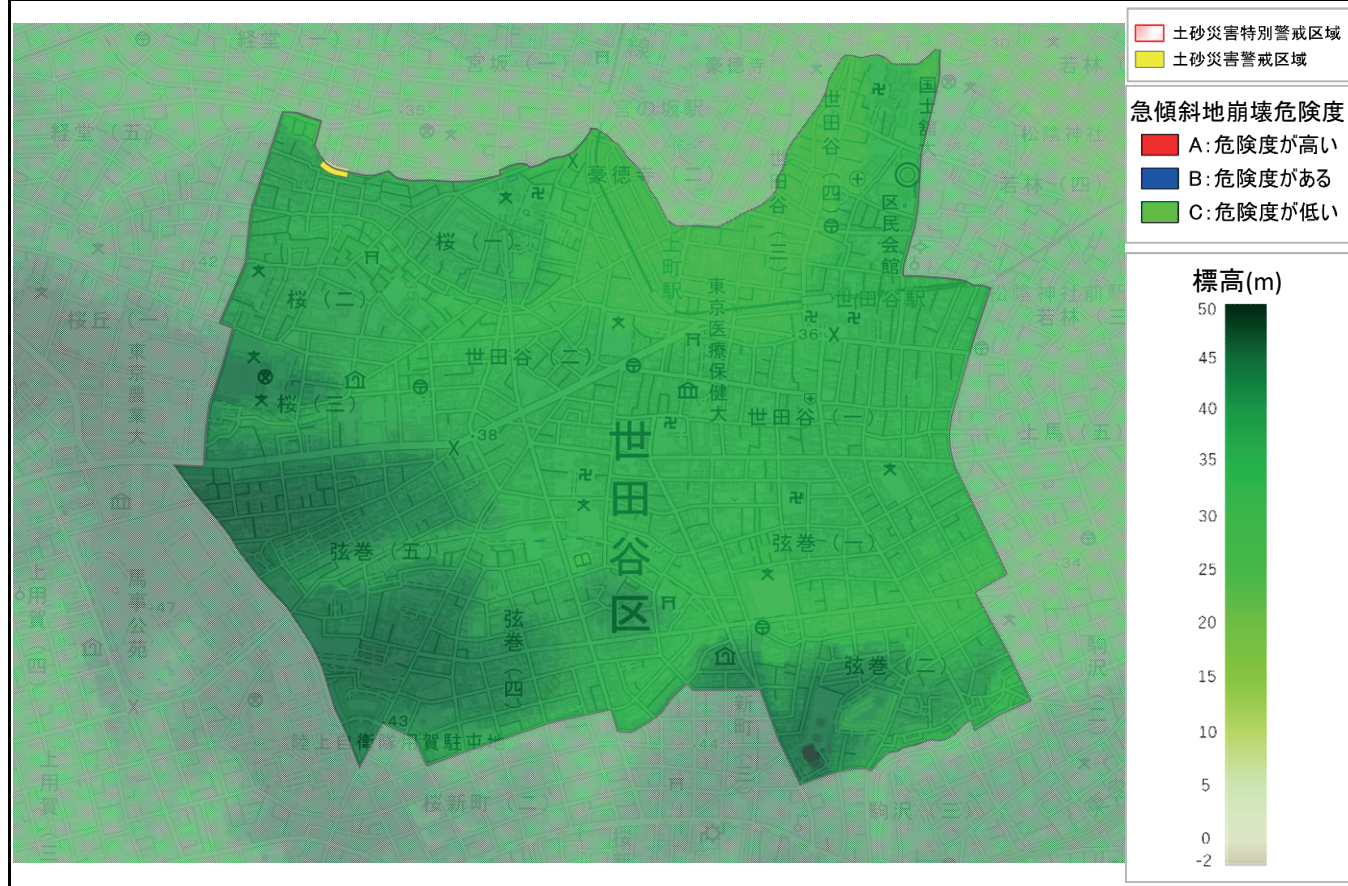
(1)自然特性

面積	2.56	Km ²	最高標高	51.0	m	最低標高	30.4	m
----	------	-----------------	------	------	---	------	------	---

位置



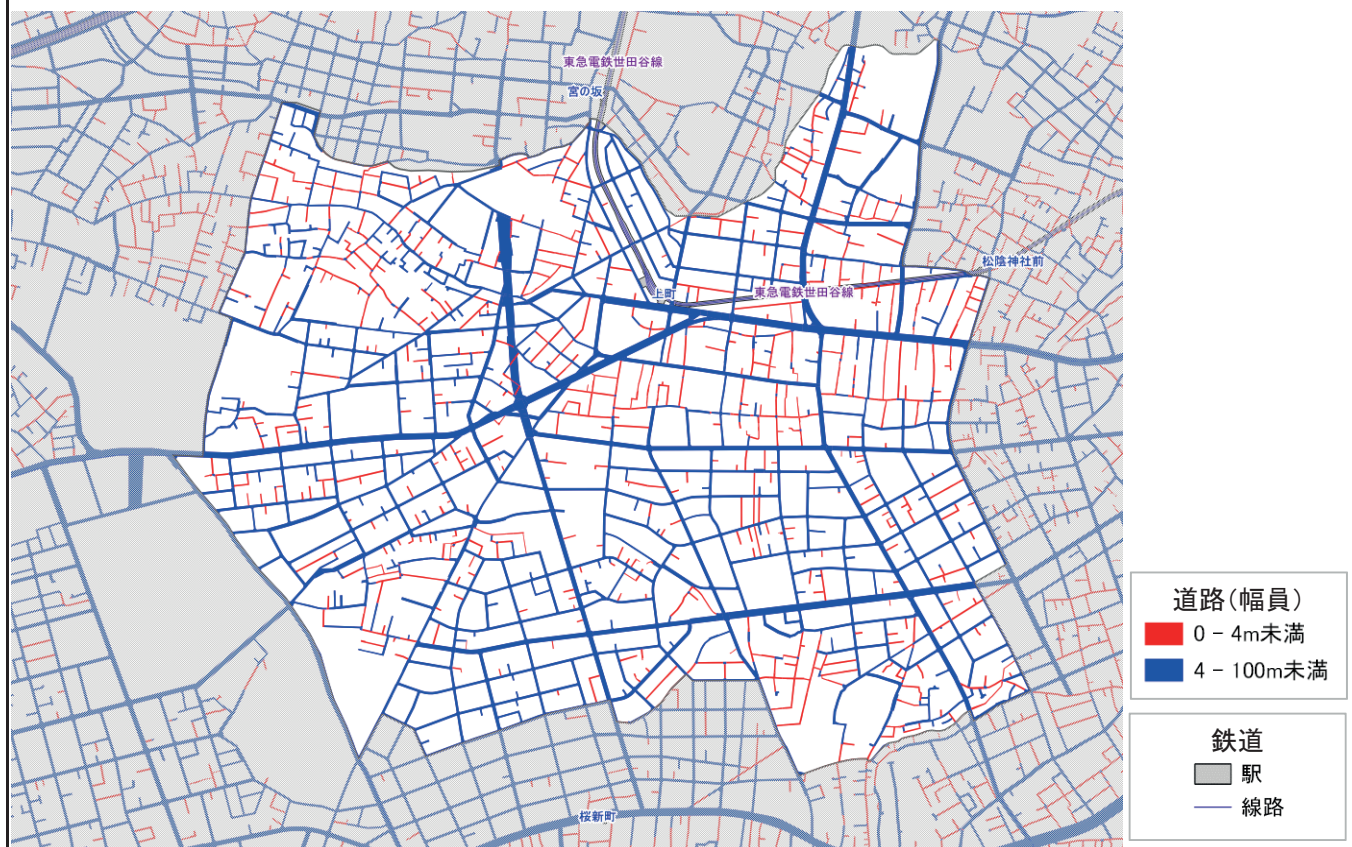
標高・急傾斜地崩壊危険度・土砂災害警戒区域等



(2)社会特性

人口	53,832 人	細街路率	30.1 %
世帯数	28,194 世帯	昭和56年以前木造建物棟数密度	82.7 棟/K㎡
1世帯あたり	1.91 人	耐火率(建築面積ベース)	66.3 %
若年層数(15才未満)	6,699 人	土地利用(宅地)	74.1 %
若年層率(15才未満)	12.4 %	土地利用(宅地以外)	25.9 %
高齢者数(65才以上)	10,819 人	鉄道駅	東急世田谷線世田谷駅 上町駅
高齢者率(65才以上)	20.1 %		
昼間の人口	49,688 人	産業	商業 90.3 %
夜間の人口	55,032 人		工業 6.4 %
昼夜間人口比	0.90 -		農業 3.4 %
町会・自治会数	6 -		

道路・公共交通機関



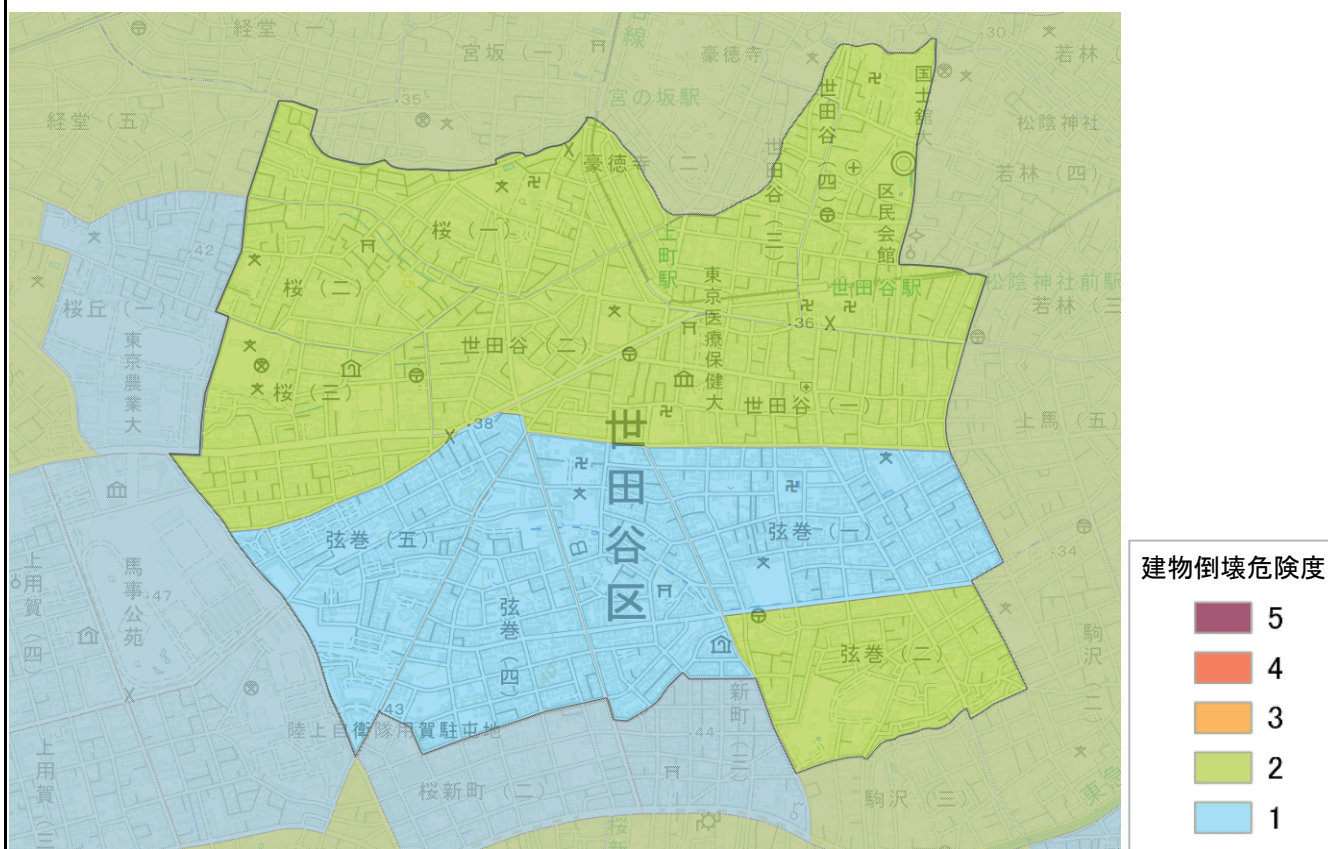
(2)社会特性

産業

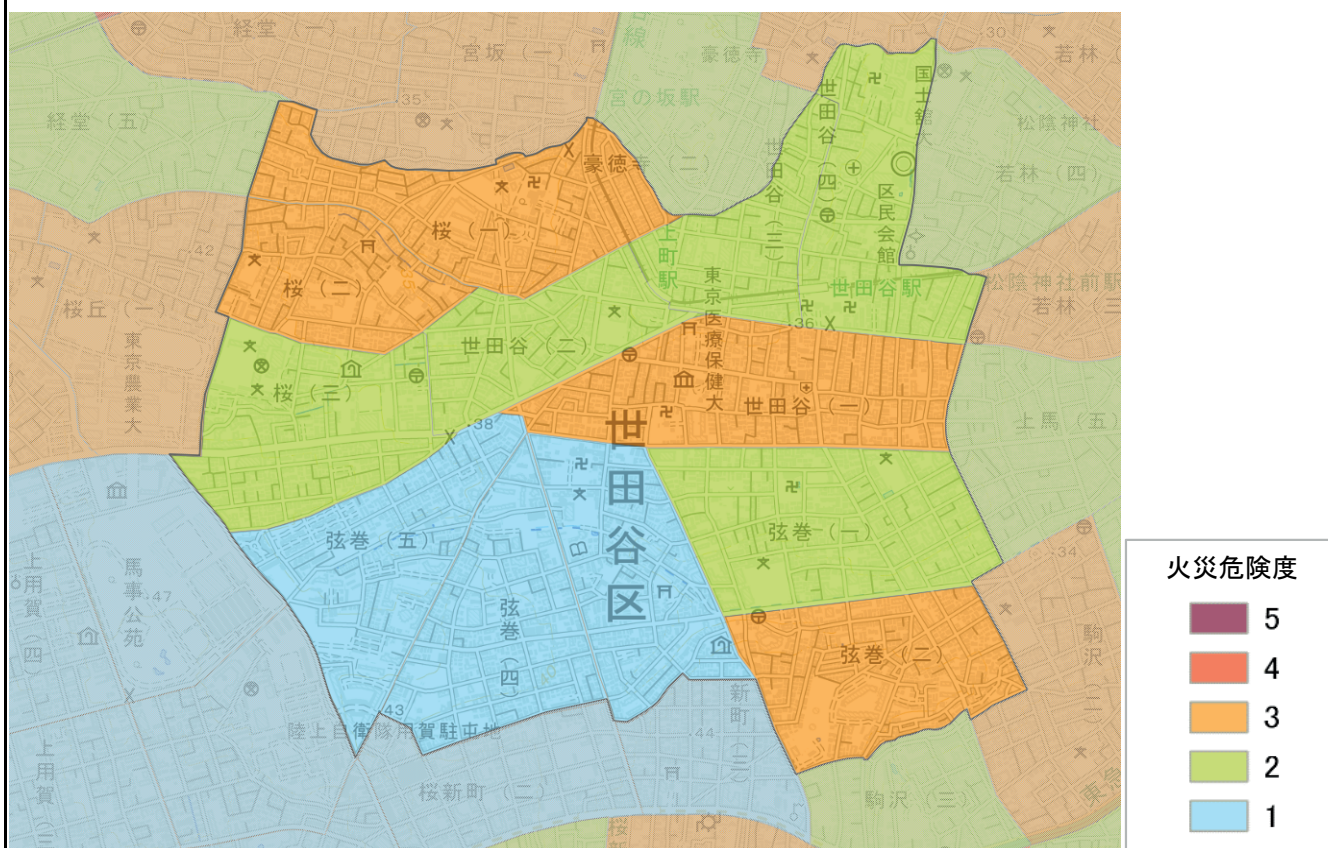


(3)地域危険度

建物倒壊危険度



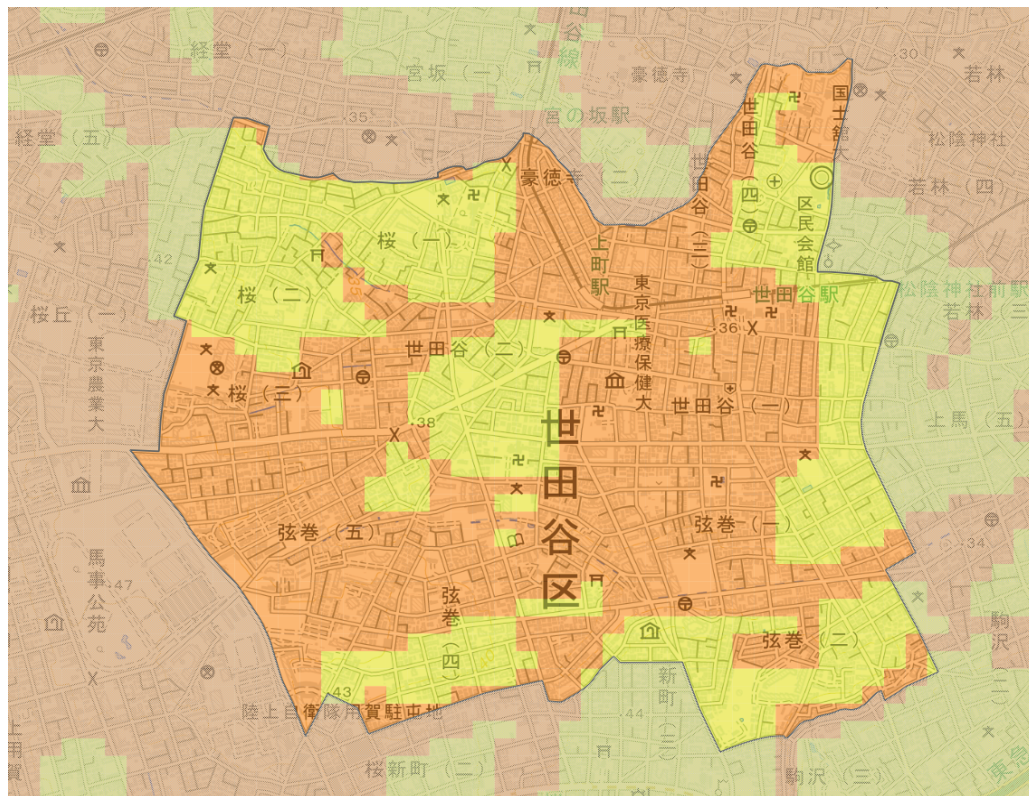
火災危険度



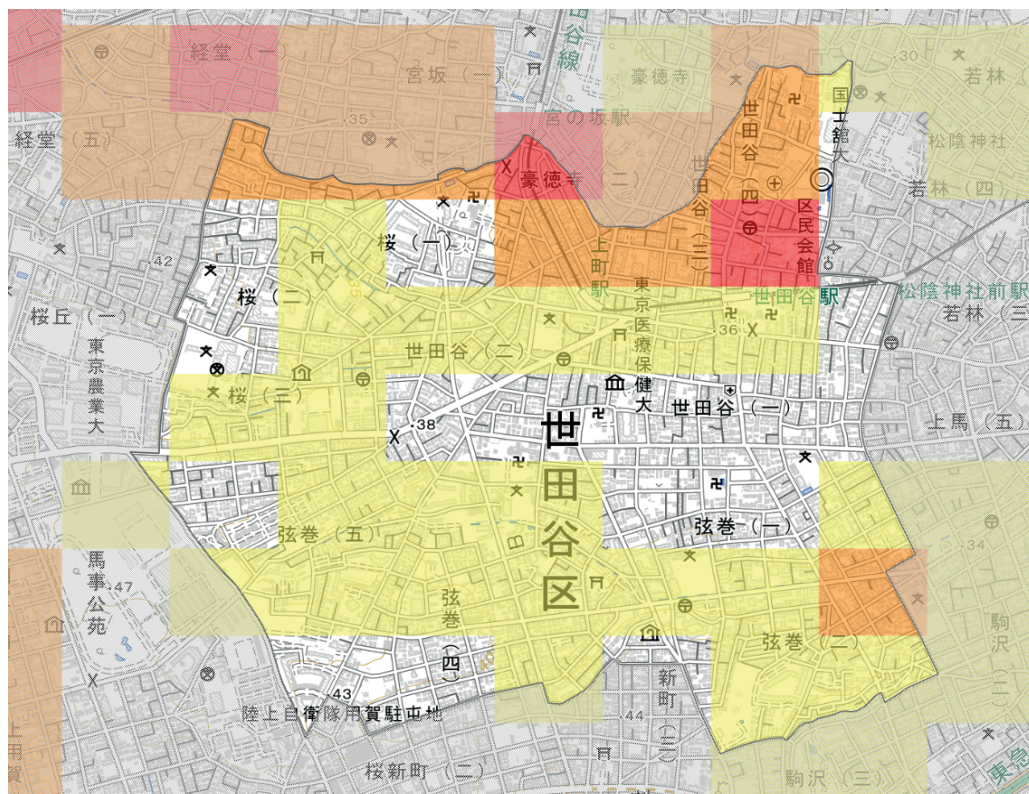
(4)被害想定

全壊棟数	350 棟	死者	35 人
半壊棟数	983 棟	負傷者	383 人
全焼棟数(倒壊建物含まず)	965 棟	うち重傷者	65 人

震度分布

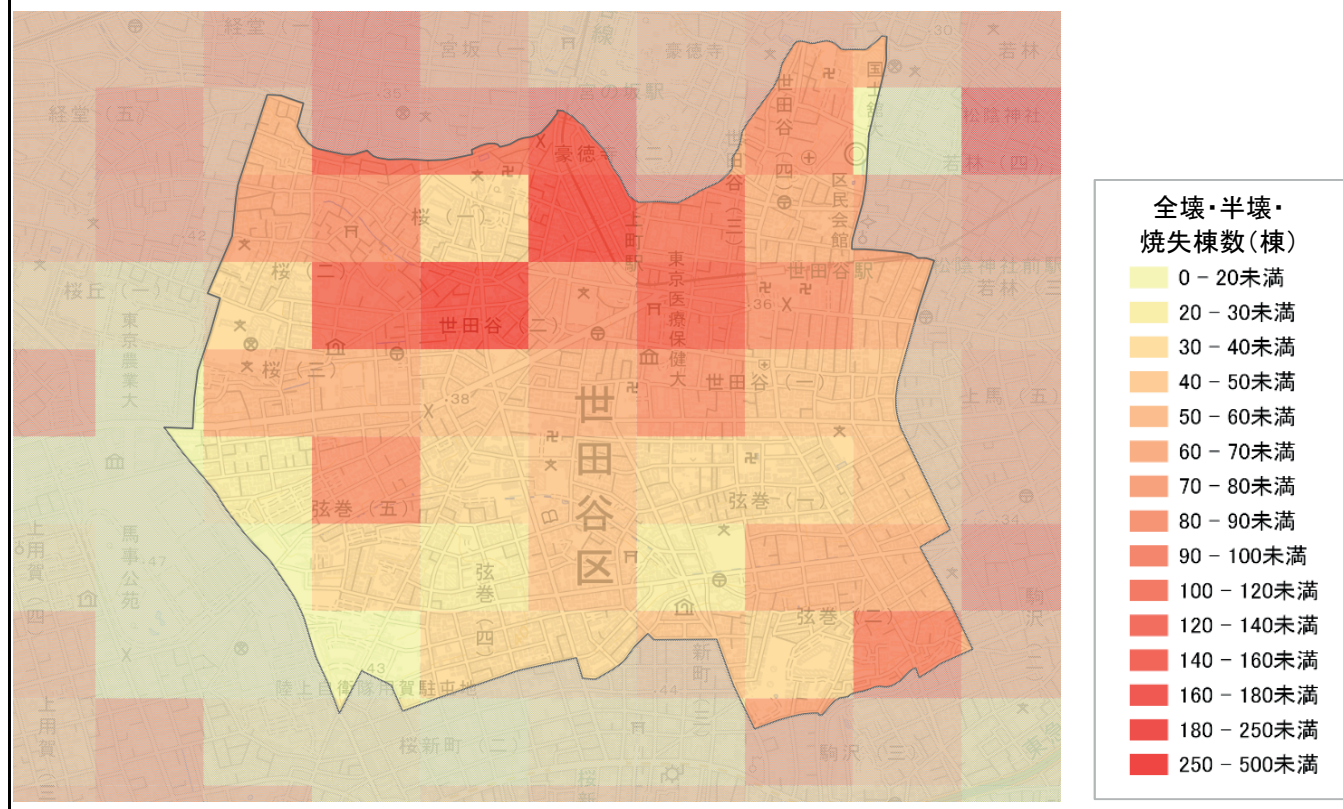


液状化分布



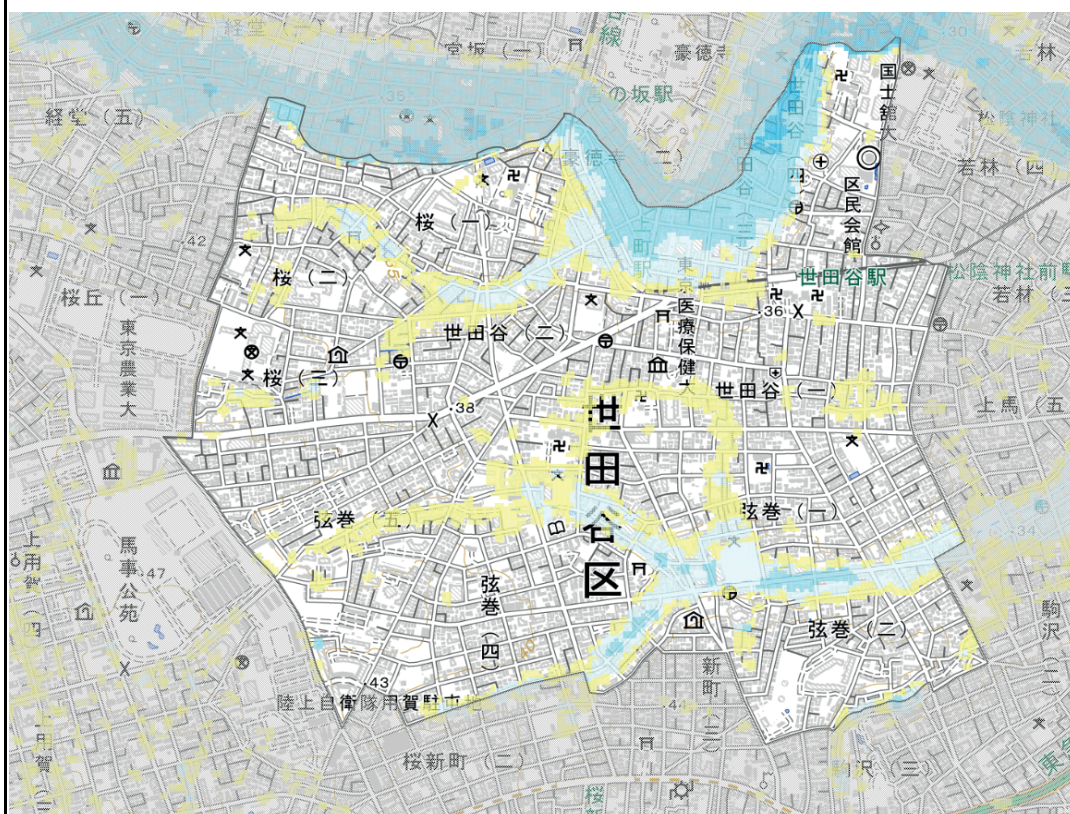
(4)被害想定

被害棟数分布

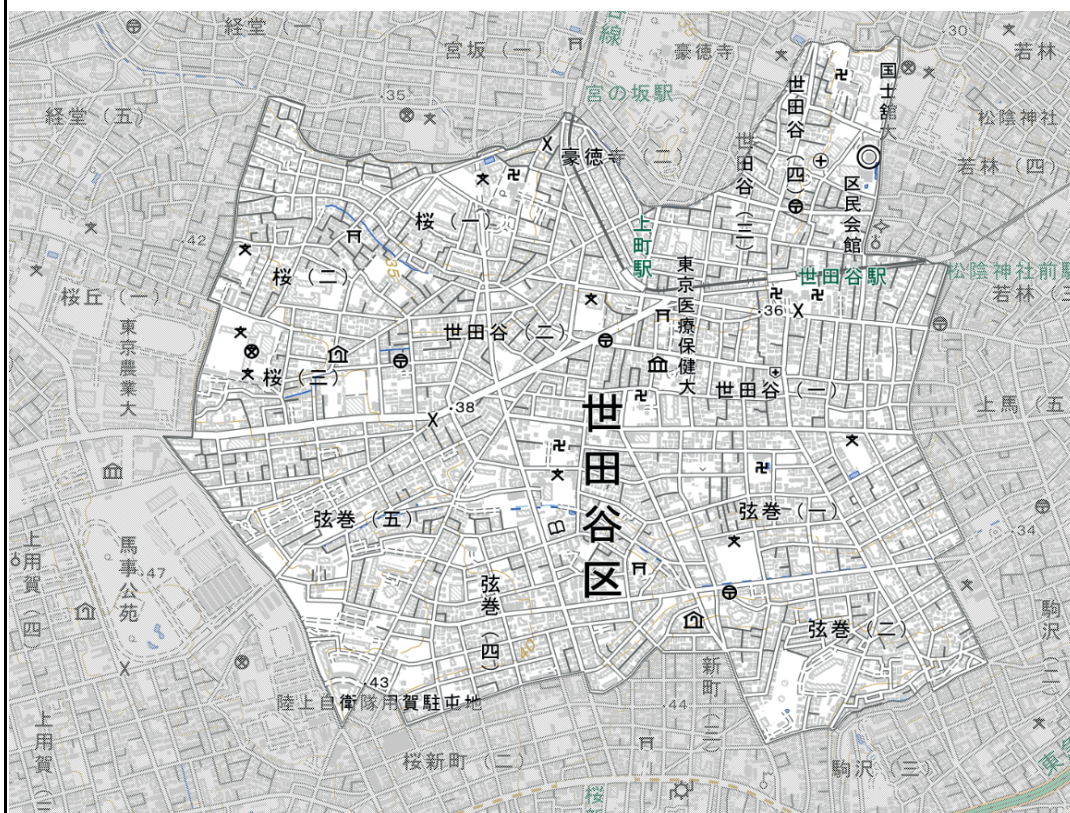


(4)被害想定

浸水想定(内水氾濫・中小河川洪水版)



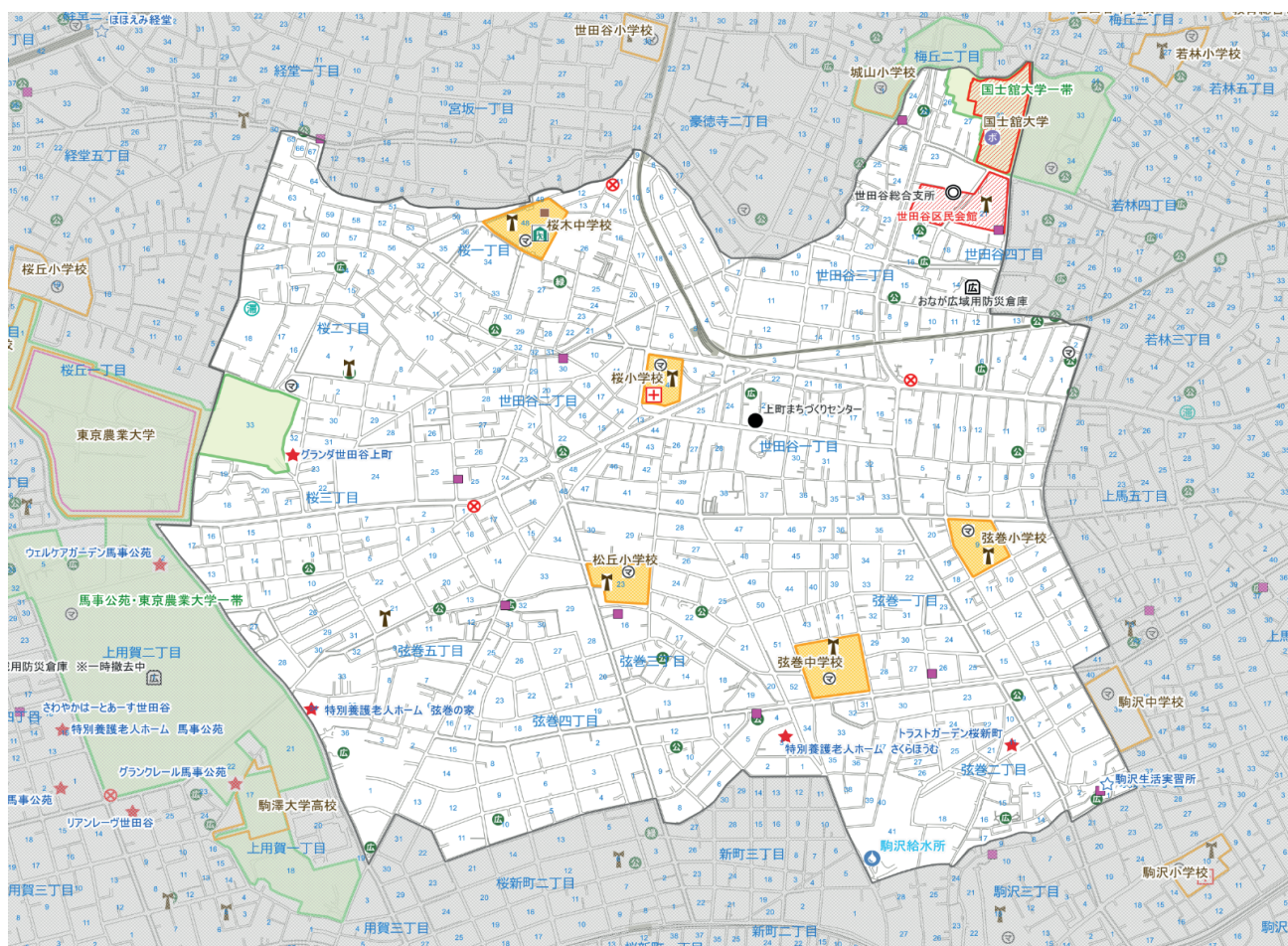
浸水想定(多摩川洪水版)



(5)防災資源一覧

広域避難場所	国士舘大学一帯 馬事公苑・東京農業大学一帯				
一時集合所	オークラランド住宅公園 オークラランド駐車場 くぬぎ公園 せたがやみどり公園 弦巻どんぐり山公園 弦巻三丁目東公園 弦巻小学校 弦巻神社 弦巻中学校 桜みんなの公園 桜小学校 桜木中学校 勝国寺 松丘小学校 城山小学校 世田谷2丁目ふれあい公園 世田谷区役所 大吉寺 天祖神社				
指定避難所	弦巻小学校 弦巻中学校 桜小学校 桜木中学校 松丘小学校				
予備避難所	国士舘大学				
福祉避難所(母子)					
福祉避難所(高齢者)	トラストガーデン桜新町 グランダ世田谷上町 特別養護老人ホーム さくらほうむ 特別養護老人ホーム弦巻の家				
福祉避難所(障害者)	駒沢生活実習所				
水害時避難所(第1次)		野川・仙川洪水時避難所			
水害時避難所(第2次)	桜木中学校				
土砂災害時避難所	桜木中学校				
避難所救護所	桜小学校				
東京都災害拠点病院					
東京都災害拠点連携病院					
緊急医療救護所					
一時滞在施設	和光小学校				
一時避難施設(車中避難)		帰宅困難者支援施設		0	ヶ所
ボランティアマッチングセンター	国士舘大世田谷キャンパス				
マンホールトイレ	7	ヶ所	防災行政無線塔	8	ヶ所
			緑地	1	ヶ所
輸送拠点	国士舘大世田谷キャンパス 世田谷区民会館				
給水拠点	駒沢給水所				
広域用防災倉庫	おなが広域用防災倉庫				
土のうステーション	旧教育センター 区役所(東棟南側) 駒沢生活実習所 弦巻区民センター 弦巻三丁目東公園 上町児童館 城山分庁舎(玄関前) 世田谷地区会館 大山道児童遊園横				
警察署・交番	桜木駐在所 松ヶ丘交番 世田谷交番				
消防署・出張所					

(6)防災資源マップ



- | | |
|--------------------|-------------------|
| ◎ 総合支所 | ■ 広域避難場所 |
| ● まちづくりセンター | ■ 指定避難所 |
| ⦿ セタがや災害ボランティアセンター | ■ 予備避難所 |
| ⦿ 広域用防災倉庫 | ■ 福祉避難所(母子) |
| ⦿ 給水拠点 | ★ 福祉避難所(高齢者) |
| ⦿ 防災行政無線塔 | ☆ 福祉避難所(障害者) |
| ⦿ マンホールトイレ | ■ 水害時避難所(第1次) |
| ■ 土のうステーション | ■ 水害時避難所(第2次) |
| ⦿ 警察署 | ◆ 野川・仙川洪水時避難所 |
| ⦿ 交番 | ■ 水害時避難所(狛江市) |
| ⦿ 消防署 | ■ 水害時避難所(調布市) |
| ⦿ 消防出張所 | ■ 土砂災害時避難所 |
| ⦿ 身近な広場 | ⦿ 避難所救護所 |
| ⦿ 公園 | ⦿ 東京都災害拠点病院 |
| ⦿ 緑地 | ⦿ 東京都災害拠点連携病院 |
| | ⦿ 緊急医療救護所 |
| | ⦿ 一時滞在施設 |
| | ⦿ 帰宅困難者支援施設 |
| | ⦿ ボランティアマッチングセンター |
| | ⦿ 輸送拠点等 |
| | ⦿ 一時避難施設(車中避難) |

出典
 世田谷区土砂災害ハザードマップ 令和6年7月発行
 世田谷区の町丁目別人口と世帯数 令和6年3月1日
 世田谷区の年齢別人口 令和6年3月1日
 世田谷区洪水・内水氾濫ハザードマップ(多摩川洪水版・内水氾濫・中小河川洪水版)令和6年7月発行
 世田谷の土地利用2021 世田谷区土地利用現況調査
 世田谷区GISオープンデータ
 令和2年国勢調査による 東京都の昼間人口(従業地・通学地による人口)第11表
 地域危険度一覧表(地震に関する地域危険度測定調査[第9回]) 令和4年9月
 首都直下地震等による東京の被害想定 報告書 令和4年5月25日
 世田谷区防災マップデータ 令和6年3月

(7)区民アンケート(上町地区)

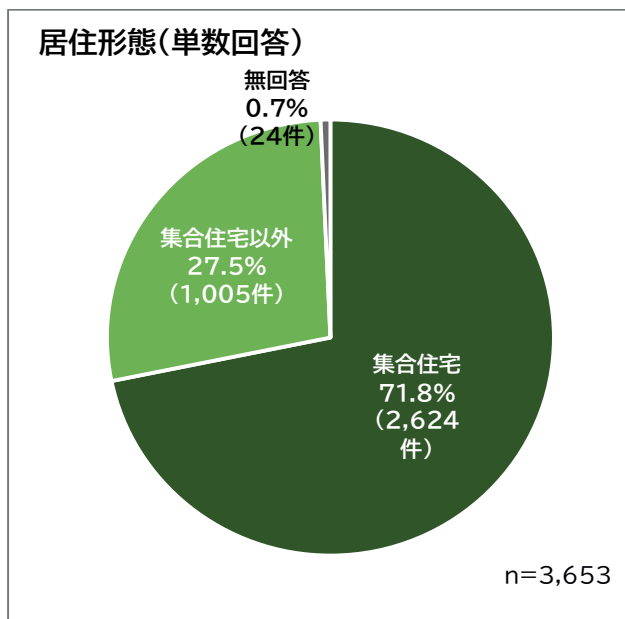
このアンケートは、今後の区内各地域及び地区における災害関連施策の検討や取組みに活用することを目的として、令和6年度に災害対策課が実施した「在宅避難支援事業(防災カタログギフト)」に合わせて行ったものである。

なお、以下に記載している回答集計結果は、カタログギフト申込者のうち、WEBで申し込みをした区民へ任意での回答を依頼し、令和6年8月9日から9月8日までに回収できた分である。

単純集計(1/5)

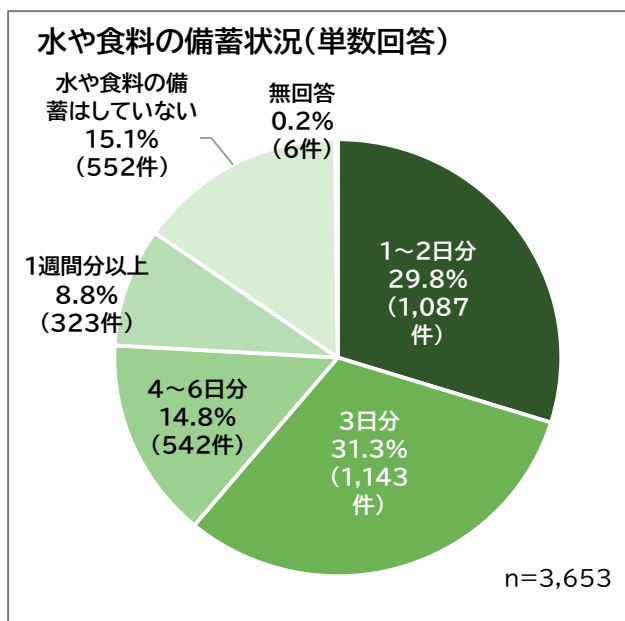
居住形態

【1】あなたはマンションなどの集合住宅にお住まいですか。



水や食料の備蓄状況

【2】あなたのご家庭では、災害に備えて水や食料は何日分備蓄していますか。



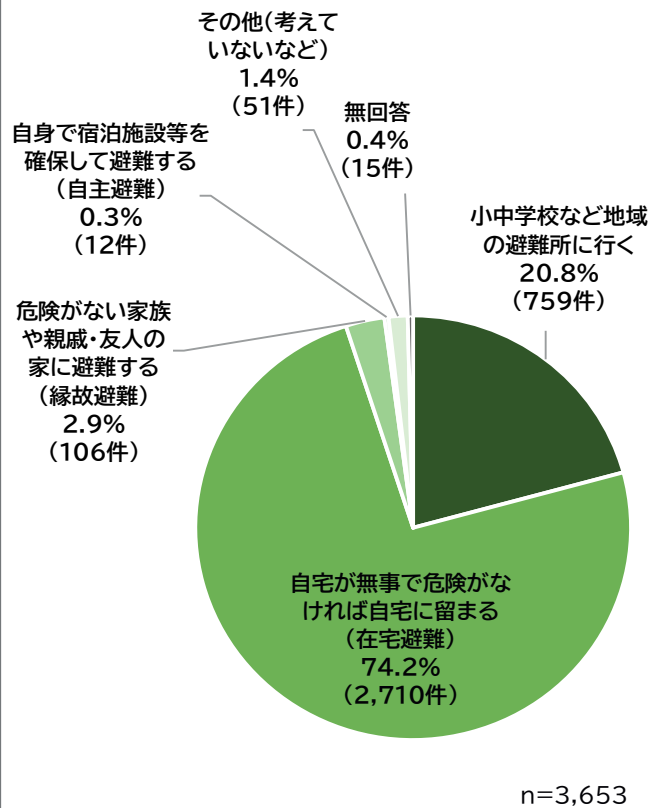
(7)区民アンケート(上町地区)

単純集計(2/5)

震度6強の地震発生時の避難行動

【3】震度6強の大きな地震が発生した場合、どのような避難行動をとりますか。

震度6強の地震発生時の避難行動(単数回答)



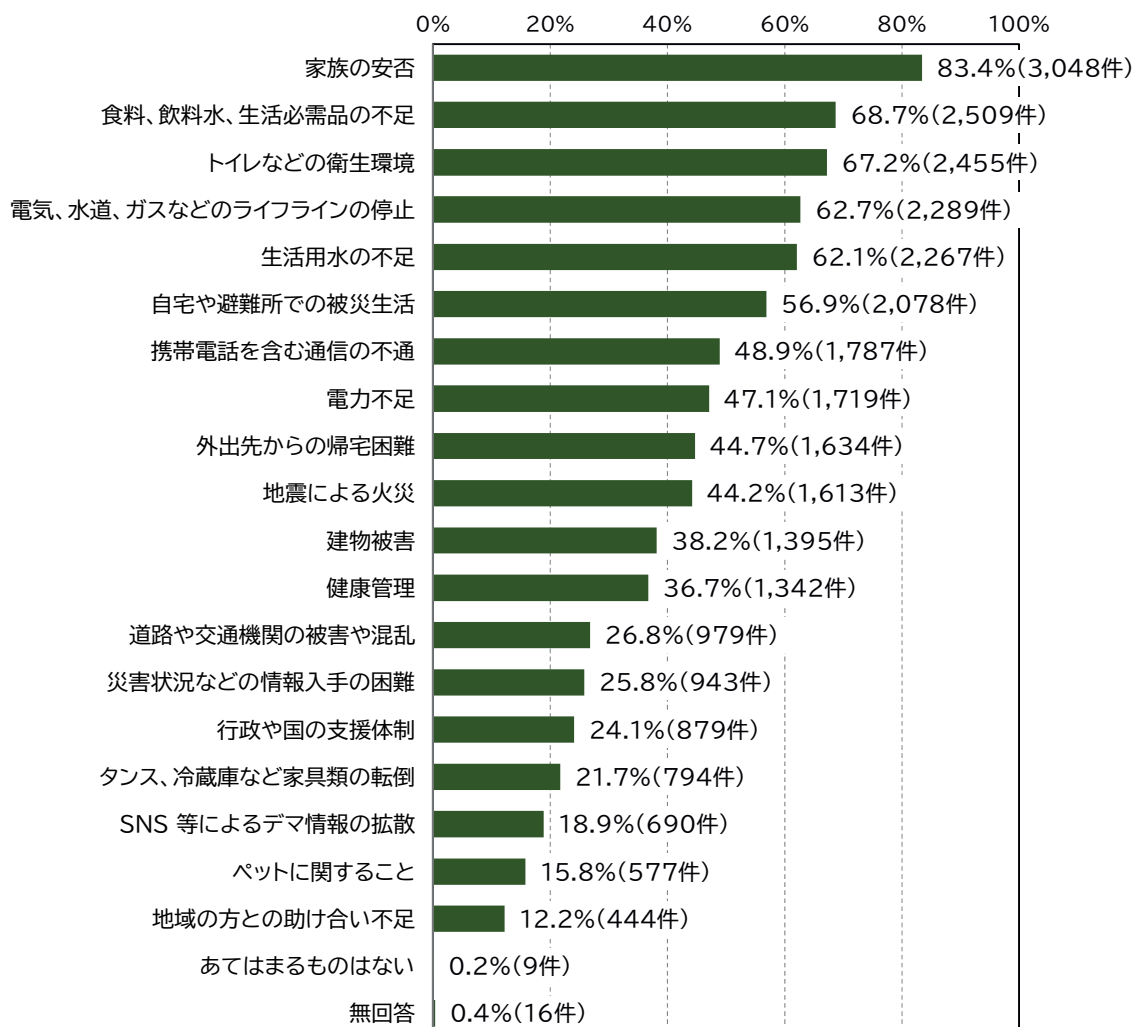
(7)区民アンケート(上町地区)

単純集計(3/5)

災害時の心配ごと

【4】災害が起こった場合、どのようなことが心配ですか。

災害時の心配ごと(複数回答)



n=3,653

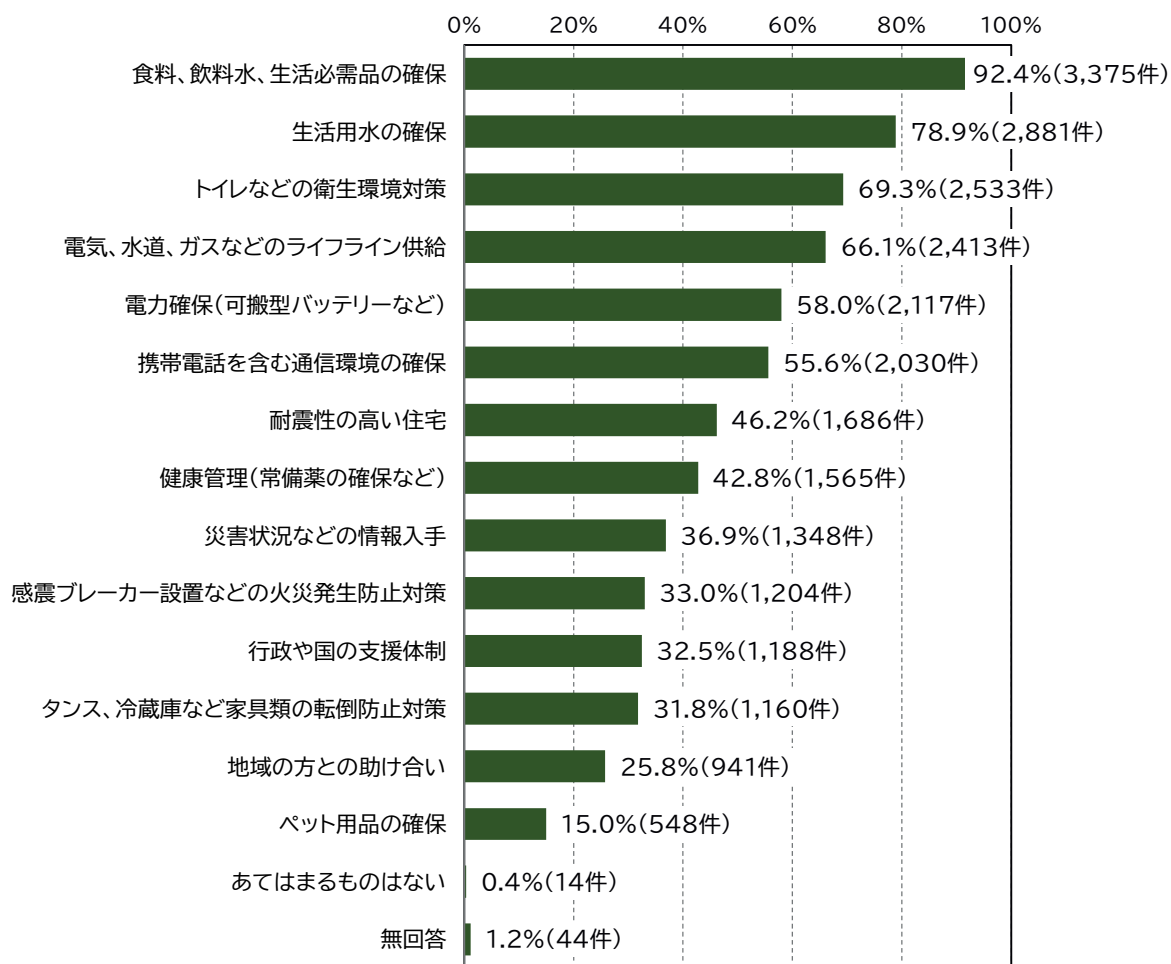
(7)区民アンケート(上町地区)

単純集計(4/5)

在宅避難をするために必要だと思うこと

【5】区では、震災時に自宅が安全であれば、そのまま自宅で避難生活を送る「在宅避難」を推奨しています。在宅避難をするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

在宅避難をするために必要だと思うこと(複数回答)



n=3,653

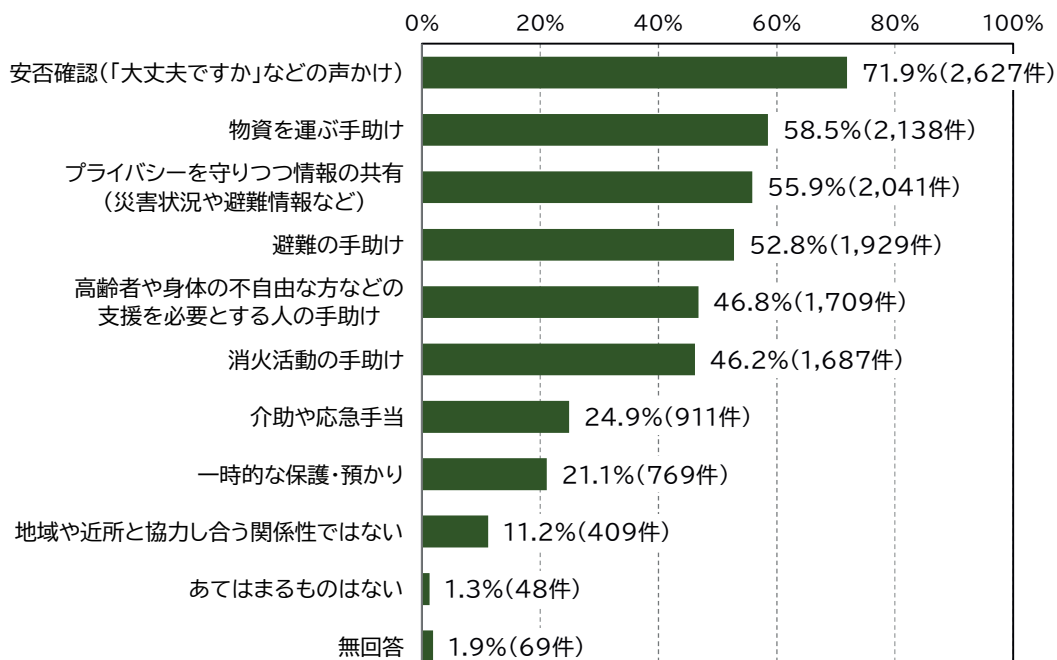
(7)区民アンケート(上町地区)

単純集計(5/5)

災害時にできる住民同士の支援

【6】災害時に地域や近所の住民同士でどのような支援(手助け)ができると思いますか。

災害時にできる住民同士の支援(複数回答)

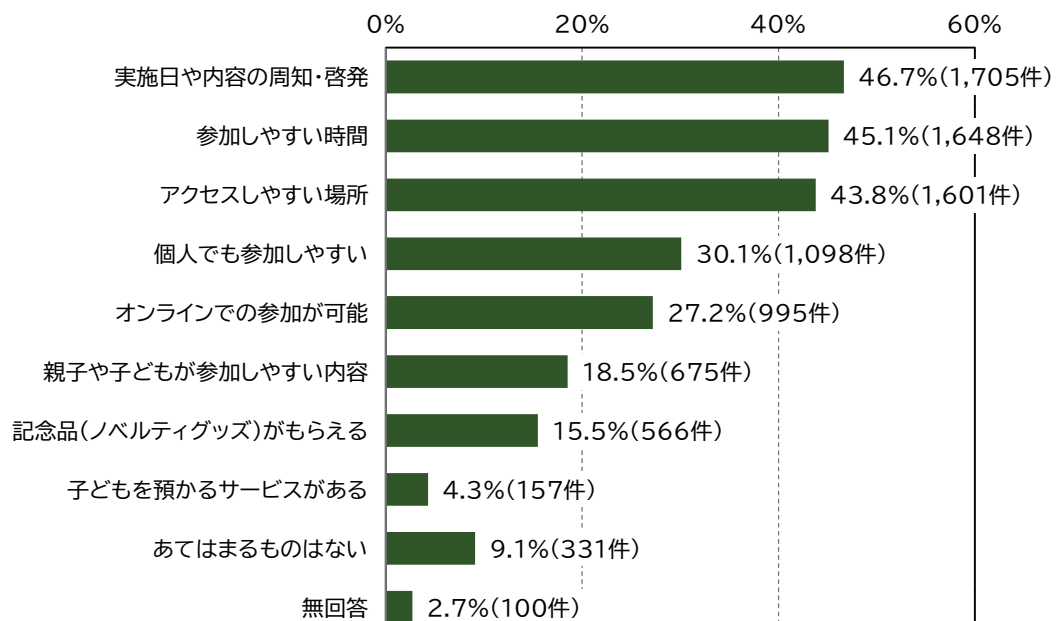


n=3,653

防災訓練や防災教室への参加意向

【7】どのようなことがあれば、世田谷区が実施している防災訓練や防災教室に参加したいと思いますか。

防災訓練や防災教室への参加意向(複数回答)



n=3,653

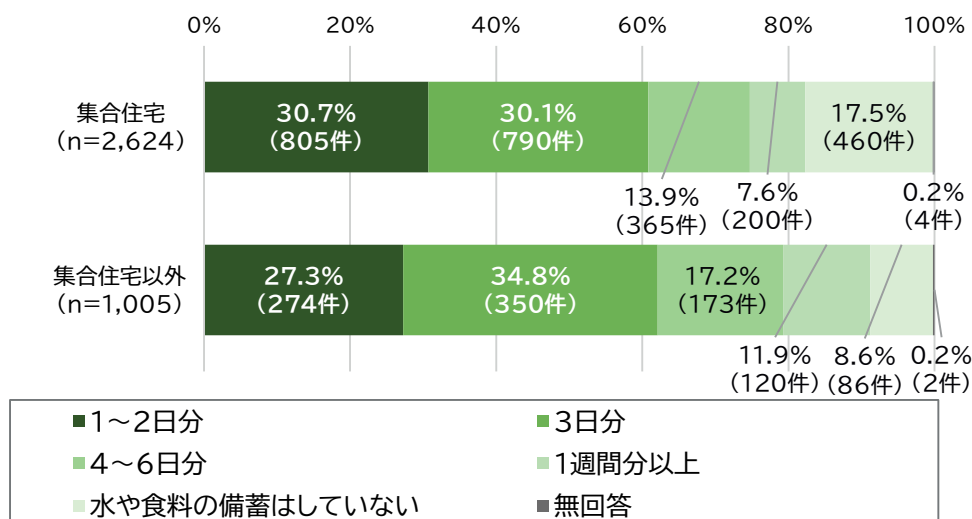
(7)区民アンケート(上町地区)

クロス集計(1/4)

水や食料の備蓄状況

【2】あなたのご家庭では、災害に備えて水や食料は何日分備蓄していますか。

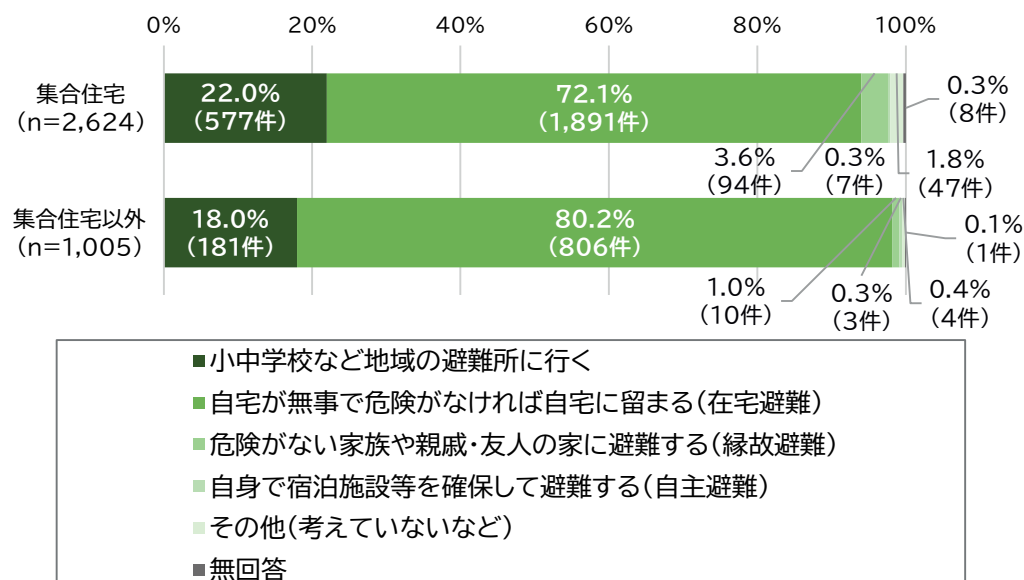
【居住形態別】水や食料の備蓄状況(単数回答)



震度6強の地震発生時の避難行動

【3】震度6強の大きな地震が発生した場合、どのような避難行動をとりますか。

【居住形態別】震度6強の地震発生時の避難行動(単数回答)



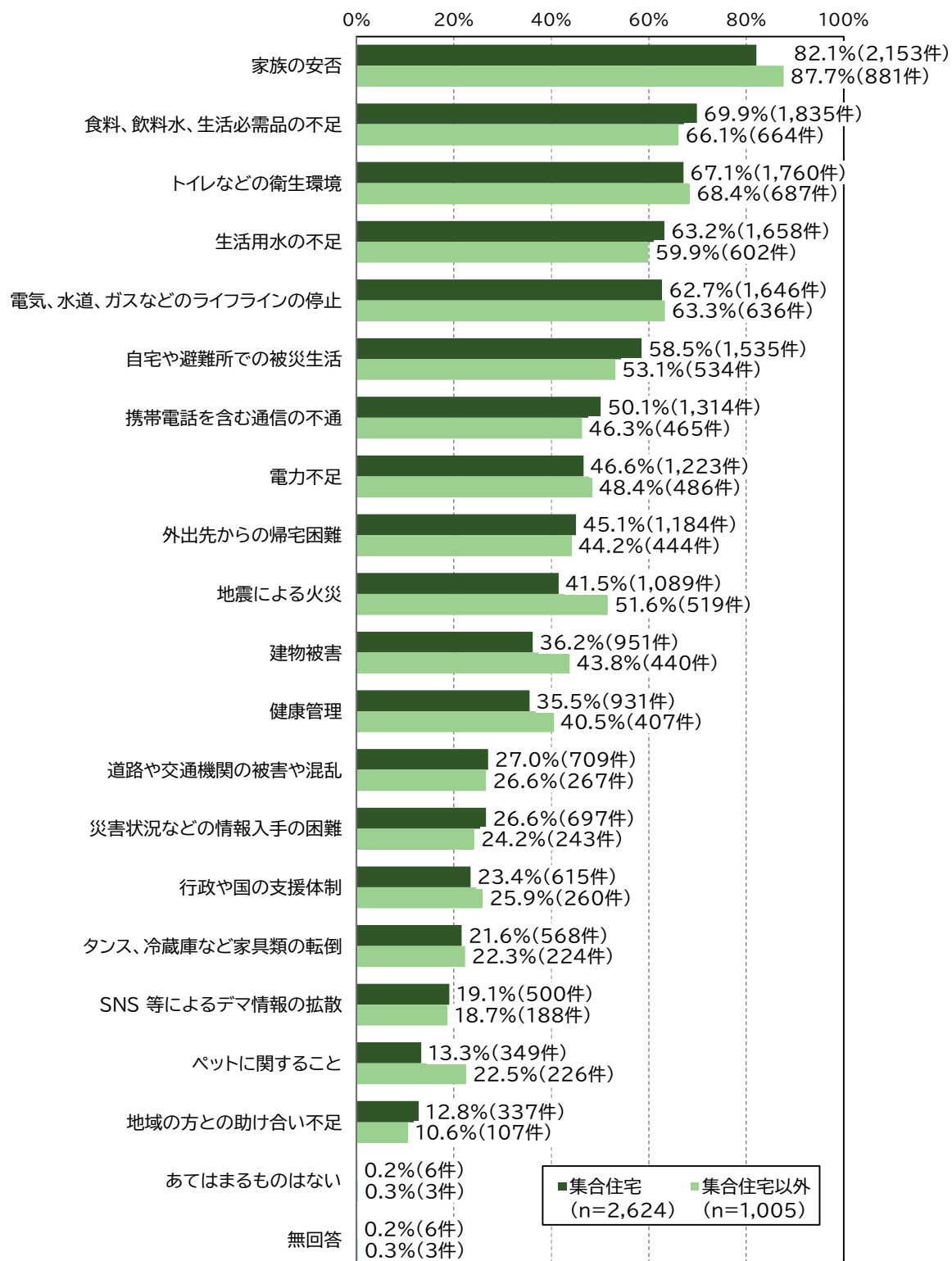
(7)区民アンケート(上町地区)

クロス集計(2/4)

災害時の心配ごと

【4】災害が起こった場合、どのようなことが心配ですか。

【居住形態別】災害時の心配ごと(複数回答)



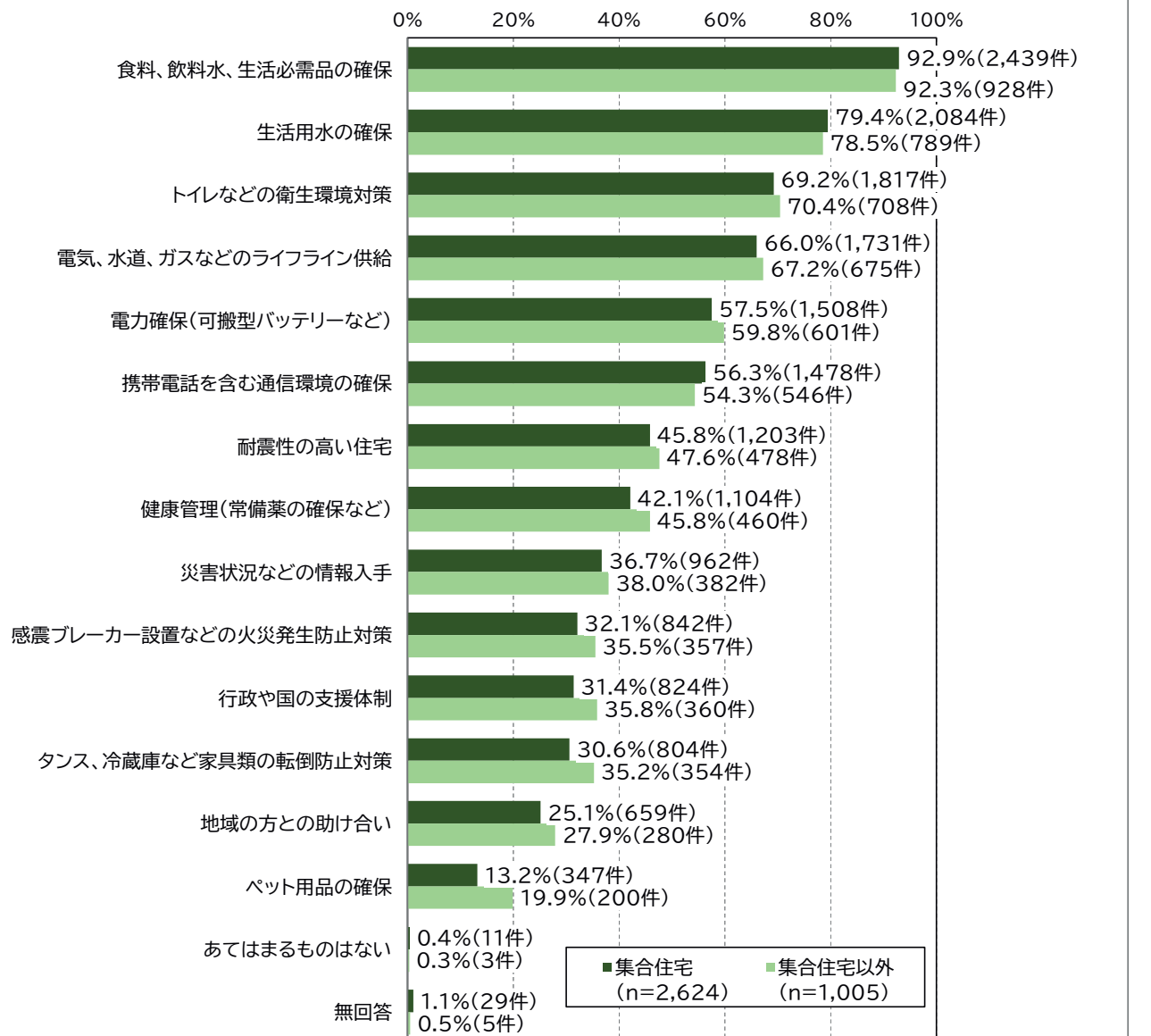
(7)区民アンケート(上町地区)

クロス集計(3/4)

在宅避難をするために必要だと思うこと

【5】区では、震災時に自宅が安全であれば、そのまま自宅で避難生活を送る「在宅避難」を推奨しています。在宅避難をするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

【居住形態別】在宅避難をするために必要だと思うこと(複数回答)



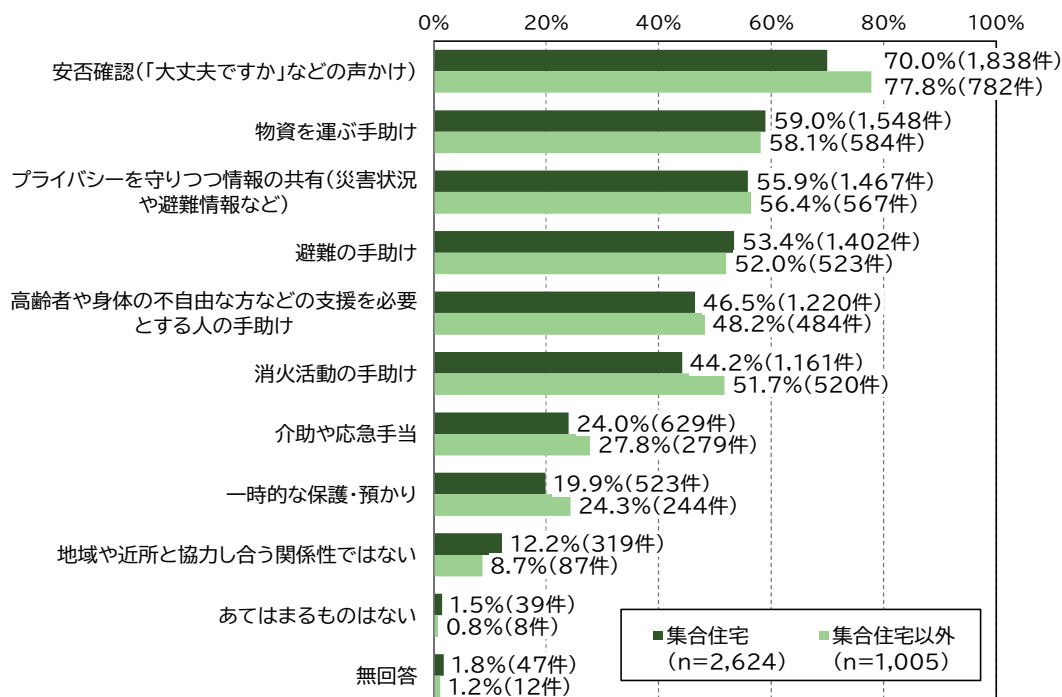
(7)区民アンケート(上町地区)

クロス集計(4/4)

災害時にできる住民同士の支援

【6】災害時に地域や近所の住民同士でどのような支援(手助け)ができると思いますか。

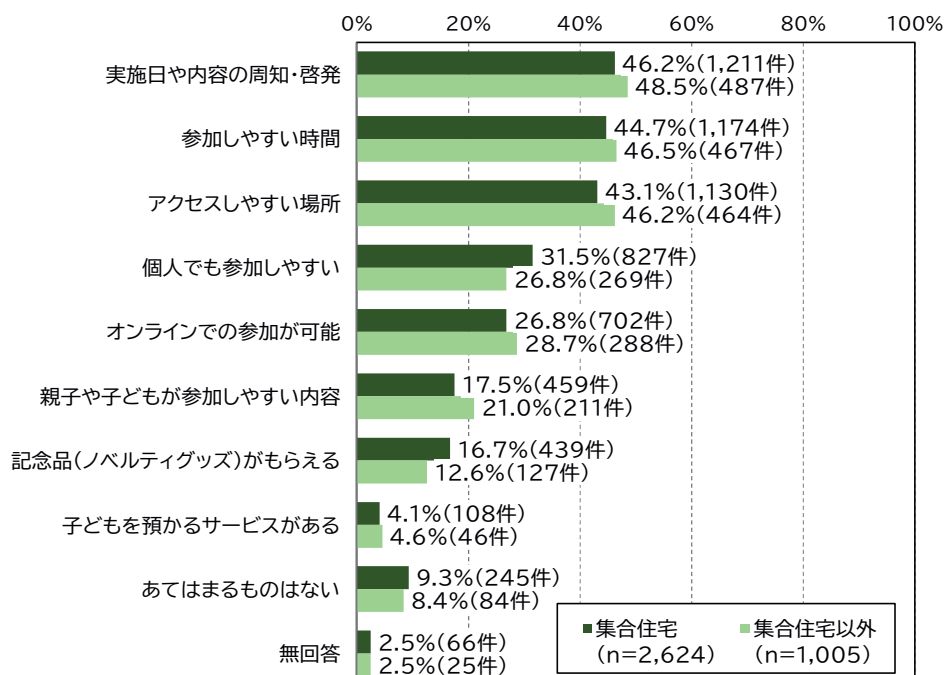
【居住形態別】災害時にできる住民同士の支援(複数回答)



防災訓練や防災教室への参加意向

【7】どのようなことがあれば、世田谷区が実施している防災訓練や防災教室に参加したいと思いますか。

【居住形態別】防災訓練や防災教室への参加意向(複数回答)



2 各団体の防災活動～現在の取組状況～

団体名	防災担当者数	防災に関する会議				防災活動、資機材配備等の実施				消火資機材の配備							
		実施している	実施していない	会議名	(実施回数 年間)	実施している	実施していない	配備している	配備していない	スタンドパイプ		D型ポンプ		消火器		その他	
										数量	場所	数量	場所	数量	場所	名称	場所
世田谷上町町会	15		○				○	○				1	桜小学校校庭				
世田谷東町会	5	○		ご近所防災ネットワークづくりの寄合い	4	○		○		2	世田谷東町会防災倉庫	2	世田谷東町会防災倉庫				
世田谷2丁目町会	3	○		防災部会	12	○		○		2	世田谷2丁目町会防災倉庫	2	世田谷2丁目町会防災倉庫				
桜町会	12	○		防災部会	2	○		○		1	桜町会防災倉庫	1	桜町会防災倉庫	2	桜会館		
松丘町会	10	○		町会役員会	10	○		○				1	桜3-25-23				
弦巻町会	7	○		弦巻町会防災担当者会議	2	○		○		7	弦巻町会防災倉庫	1	弦巻町会防災倉庫	7	弦巻町会防災倉庫		

団体名	防災訓練等の実施								防災マップ													
	実施している	実施していない	防災訓練		救命救急講習会		その他		作成済	作成中	作成検討中	作成予定なし	掲載情報									
			回数	実施場所	回数	実施場所	訓練名称	実施場所					一時集合所	広域避難場所	避難所	街路消火器	防火水槽	震災用井戸	消火栓	その他		
世田谷上町町会		○										○										
世田谷東町会	○							スタンドパイプ及びD型ポンプの操作訓練	せたがやみどり公園			○										
世田谷2丁目町会		○										○										
桜町会	○		1	桜木中学校または桜木ふれあい緑地				マンホールトイレ訓練	桜みんなの公園			○										
松丘町会	○		1	オークランド住宅公園	1	松丘小学校	マンホールトイレ訓練	桜みんなの公園	○					○	○	○	○					
弦巻町会	○				1	松丘小学校	①マンホールトイレ訓練、②放水訓練	①弦巻中学校、②弦巻神社周辺			○											

団体名	防災士等の数				災害時連携・協定 (区を除く)				避難行動要 支援者協定			避難行動要支援者対策				連絡手段の確保				
	防災士	把握していない	地域防災リーダー	把握していない	他団体との連携	協定締結	特になし	連携先・内容	協定先・内容	締結している	検討中である	予定はない	見守り活動	避難行動要支援者体験	その他	特に実ない	簡易無線	作成・整備	連絡網の	その他
世田谷上町町会	3		0				○					○				○			○	
世田谷東町会	4		0		○			世田谷駅前 商店街振興 組合				○	○		ご近所同士の 助け合いの お願い					会長、副会長、総務、 会計へのメール及び 役員会で情報共有を する
世田谷2丁目町会	2		0				○			○					民生委員が毎 年、情報確認を 行っている				○	
桜町会	5		0		○			東京農業大 学(陸上競技 部)、和光学 園				○	○				○			防災部員は震度5弱 で、桜木中学校正門 に集合する
松丘町会	4		1		○			オークララン ド住宅公園運 営会社(サン フジ企画)、東 京農業大学 (ホッケー部)				○	○		要支援者から町 会役員へ要請 があった場合 は、対応する				○	震度5強でオークラ ランド住宅公園に集 合する
弦巻町会	9		2		○			隣接する駒沢 3丁目町会と 桜新町町会と 第1回会合を 持ち、当町会 が実施した防 災訓練に代表 者各4～5名 が参加してい る			○			○						

団体名	防災活動に関するマニュアル (避難所運営マニュアルを除く)				救出救助に係る 資機材の配備																		
	策定済み	策定中	検討中	予定なし	名称	配備していない	配備している	リアカー	はしご	脚立	担架	救急セット	ヘルメット	救助工具セット	バール	スコップ	手おの	のこぎり	ジャッキ	両口ハンマー	ツルハシ	その他	保管場所
世田谷上町町会				○		○																	
世田谷東町会			○			○	1			1			30	2								工具箱 1個	世田谷東町会 防災倉庫
世田谷2丁目町会			○			○			2	1	1	20	1	1	3		3	1					世田谷2丁目町会 防災倉庫
桜町会				○		○	1	1	1	2	1	20		2	5	2		1	2		シャベル (小) 5個	桜木中学校 防災倉庫	
松丘町会				○		○	1		1	1		15		1	1	1	1	1	1			オークラランド 住宅公園	
弦巻町会				○		○	1		2		3	60	2	3	3	2	2					弦巻町会 防災倉庫	

団体名	食糧等の備蓄																	その他の 防災活動	
	備蓄 していない	備蓄 している	アルファ 米	ビスケット・乾パン	おかゆ	飲料水	缶詰類	レトルト食品類	カセットコンロ	災害用食料 その他	非常用トイレ	照明	発電機	蓄電池セット	給水タンク	その他	保管場所		備蓄品配布先
世田谷上町町会	○																		
世田谷東町会		○							1		100	1	1			ソーラー パネル2 セット	世田谷東 町会防災 倉庫	発災型防災 訓練を実行 可能な場所 にて、年1～ 2回行った 際は参加者 に配布して いる	
世田谷2丁目町会		○										1	2				世田谷2 丁目町会 防災倉庫		
桜町会		○	100 食	1,024 食	480 食				2			28		2	2	ポータブル テント、トイレ 各3個	桜木中学 校防災倉庫	町会の防災 訓練参加者 に配布して いる	東京農業大学 (陸上競技部) と相互支援覚 書を締結して いる
松丘町会		○	200 食			2L × 60 本		60 食	3		400		2				オークララ ンド住宅 公園、桜3 -25-23 (発電機のみ)	訓練・イベン トの際に参加 者に配布 している	東京農業大学 (ホッケー部) と相互支援覚 書を締結して いる
弦巻町会		○									1,000		4			防災服 (上下) 10着、ゴム 長靴 10足	弦巻町会 防災倉庫	町会員各家 庭にトイレ セットを1 セットずつ配 布済み	

3 上町地区の課題と取り組み

(1)方 針

地区住民への防災に対する意識向上を図り、災害時に備え自助・共助の取り組みを推進する。

(2)課 題

上町地区身近なまちづくり推進協議会防災対策部会(以下、「防災対策部会」という)にて、地区の防災活動を通じて部会員が感じたことや地域の声を集約し、課題を抽出しました。

自助(自分自身や家族の命と財産を守るために、自分で、家族で防災に取り組むこと)

- ① 在宅避難の認知率向上ならびに備え
- ② 防災知識の向上

共助(地域やコミュニティといった周囲の人たちが協力して助け合うこと)

- ① 避難所運営の強化
- ② 防災活動を推進する担い手の育成・支援
- ③ 要配慮者、避難行動要支援者の支援
- ④ 集合住宅における防災意識の向上ならびに支援

(3)課題に対する取り組み

自助① 在宅避難の認知率向上ならびに備え

現在の取り組み

□在宅避難の周知

●防災リーフレット「在宅避難のすすめ」の配布

令和2年1月に防災対策部会の協力により在宅避難における課題や意見をまとめた防災リーフレット「在宅避難のすすめ」を発行し、上町まちづくりセンターにて配布しています。

●在宅避難と合わせて区の各防災対策支援を掲載したチラシを作成、周知。

在宅避難の認知率の向上および令和6年8月から開始の「せたがや防災ギフト」をはじめとした区の各防災対策支援を紹介したチラシを作成し、町会回覧や上町まちづくりセンターにて配布しています。

今後の取り組み

□在宅避難の周知の充実

□区や東京都など行政による防災対策補助や支援の周知

自助② 防災知識の向上

現在の取り組み

□地区住民の防災知識の向上

●地区住民を対象とした町会主催の防災訓練の実施

松丘町会では初期消火や煙体験、起震車体験などの防災訓練を実施しています。地区住民へ防災啓発を行うとともに、様々な世代の住民が交流しながら知識を高める場となっています。

□青少年の防災教育の推進

●桜町会・桜木中学校 地域合同防災訓練

桜木中学校の生徒を対象に、PTA、町会、避難所運営委員会、消防署、あんしんすこやかセンターなど各団体が協力し、福祉用具体験、資機材訓練、応急救護訓練を実施しています。

●桜小学校「まもりんピックさくら」の開催

桜小学校の児童を対象に、PTA、消防署、避難所運営委員会など各団体が協力し、防災学習授業を実施しています。

●「子ども大会」における消火体験コーナーの設置

毎年8月に実施される「子ども大会」では、各団体が様々な体験コーナーを設けています。そのコーナーのひとつとして世田谷消防署が消火体験を実施しています。

今後の取り組み

□地区住民のさらなる防災知識の向上ならびに区の各防災対策支援の積極的な活用 周知

□幼稚園・保育施設の園児や小・中学校の児童・生徒、またその保護者を対象とした防 災教育の充実

□上町地区の社会福祉施設(児童館、高齢者施設など)における防災知識の向上およ び連携した防災活動の実施

□ペットに関する防災知識の向上

共助① 避難所運営の強化

現在の取り組み

□避難所運営訓練の拡充

●中学生を対象とした避難所運営訓練の実施

TSA(※)の生徒たちが講師となって、他の生徒に発電機の取り扱いやマンホールトイレの組み立て方法を教えています。

※Tsurumaki Student Aid:避難所運営を支援する弦巻中学校の生徒で構成されたチーム

●応急手当訓練の実施

発災時、避難所となる学校には負傷して動けない児童や教職員、また、閉じ込め等でその所在も分からない児童や教職員がいる可能性があることから負傷者や所在不明者を探索、発見し、医療機関に適切につなぎ、避難所を迅速に開設するために、桜小学校避難所運営委員会では探索の技術や災害時の心身の状況についての知識や配慮、応急手当などを学び、災害に対応できる力を身に付けています。

□要配慮者への対応・支援に向けた取組

●分かりやすい情報発信

上町地区の各避難所運営委員や福祉サービス業の方を対象に外国人が情報を受け取る際にどのような困りごとを抱えているかを知り、分かりやすい情報発信をするためのやさしい日本語について学ぶ講習会を実施しました。

□避難所運営委員の知識向上

●上町地区身近なまちづくり推進協議会防災対策部会員ならびに避難所運営委員による勉強会の実施

世田谷災害ボランティアセンターの設立経緯と役割を学び、指定避難所内におけるボランティアのサテライトの設置や避難所とサテライトの連携について学ぶ勉強会を実施しました。

今後の取り組み

□地区住民の避難所運営への参加に向けた活動の推進

□要配慮者への対応の充実

□ペット同行避難への対応ならびにペット在宅避難の啓蒙

□指定避難所となっている学校との情報共有など連携の強化

共助② 防災活動を推進する担い手の育成・支援

現在の取り組み

□防災関連の資格取得に向けた積極的な参加の推進

●防災士資格取得の推進

(上町地区の防災士:27名(令和6年5月28日時点、世田谷区の防災士認証登録支援制度を利用した方))

上町地区における防災士※の資格取得者を増やすため、世田谷区の防災士認証登録支援制度を活用した研修を対象である上町地区の防災区民組織や各指定避難所の避難所運営委員の方に積極的に周知し、受講を促しています。

※防災士とは…「自助」「共助」「協働」を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を習得したことを NPO 法人日本防災士機構が認証した人です。防災士は災害発生後の被災者支援活動や平常における防災意識の啓発、自助・共助活動の訓練実施など様々な場で多様な活躍が期待されています。

□若手人材の育成

●地区の大学を交えた町会主催の防災訓練の実施

東京農業大学の学生が松丘町会および桜町会の防災訓練に参加し、救助訓練等を実施しています。防災活動を話題に世代の垣根を越えて日頃から交流しています。

今後の取り組み

□小学校・中学校の児童・生徒、またその保護者への防災意識の向上と継続した防災活動を目的としたイベント実施支援

共助③ 要配慮者、避難行動要支援者の支援

現在の取り組み

□避難行動要支援者支援協定の締結

●世田谷2丁目町会が締結

今後の取り組み

□まちづくり活動を通じたさらなる住民交流の活性化

□社会福祉施設と連携した要配慮者、避難行動要支援者の理解と学びの場の提供

共助④ 集合住宅における防災意識の向上ならびに支援

現在の取り組み

□防災意識の向上

●町会作成のリーフレットを各戸配布

松丘町会では、リーフレット「災害時のトイレについて」を作成し、集合住宅へ各戸配布しました。

今後の取り組み

□集合住宅への防災意識向上や共助推進に向けた啓発ならび行政支援の周知